平成24年第2回臨時会

平成24年7月13日開会

○平成24年度境町一般会計補正予算（第3号）

主に森戸小学校南側校舎大規模改造工事、境小学校を除く4小学校の体育館耐震補強工事、二中体育館改築工事、一中南側校舎耐震補強工事に関する補正。歳入歳出予算の総額にそれぞれ9億4千950万9千円を追加し、総額を85億8千280万2千とするもの。

○工事請負契約の締結

契約の目的　平成23年度（繰越）猿島小学校校舎耐震補強工事
契約の方法　一般競争入札
契約金額　1億7千94万円
契約相手方　新井・福島特定建設工事共同企業体
代表構成員　境町大字蛇池399　株式会社新井建設工業　代表取締役　新井　孝
構成員　境町大字塚崎676　株式会社福島工務店　代表取締役　福島市郎

○工事請負契約の締結

契約の目的　平成23年度（繰越）森戸小学校校舎耐震補強工事
契約の方法　一般競争入札
契約金額　1億2千705万円
契約相手方　中和・染谷特定建設工事共同企業体
代表構成員　境町1014　中和建設株式会社　代表取締役　中村和夫
構成員　境町大字伏木235-5　有限会社染谷建設工業　代表取締役　染谷光男

二市一町合同水防演習が当町を会場に開催される

6月23日に古河市、坂東市、境町による合同水防演習が当町新吉町地先（利根川左岸堤防）において、大型台風上陸を想定に開催されました。

当日は、訓練を積んだ実働団員総勢100名のもと各種水防工法の実演が迅速に行われました。

議会報告会について

町民の皆様に日頃の議会活動をご理解いただくために、去る5月20日（日）に役場大会議室において開催をいたしました。

参加人数が34名、三つの常任委員会の委員長が中心となって平成24年度の予算の概要を説明し、圏央道境インターチェンジ（仮称）周辺開発特別委員会の委員長報告、質疑応答をして閉会しました。

また、事前の質問と当日の質問事項は次のとおりです。

①防犯センサーライト設置助成事業の内容について聞きたい。

②地区の防犯パトロール時に使用する脱着式の青色回転灯の使用許可及び購入について。

③商店街の街灯ネオンの電球交換及び維持管理を町でできないか。

④県道尾崎～境線の上町付近の道路駐車禁止区域の解除を求めることについて。

⑤東日本大震災における「がれき」を寺久の環境センターは受入をするという話も聞くが、議会の考えを聞きたい。

⑥伏木北部における指定避難場所はトイレの設置がされていない。設置できるよう検討して欲しい。

⑦現在の境町各地域における道路側溝内汚泥の放射線量を計って公表して欲しい。

⑧圏央道境インターチェンジ周辺開発をなぜ境町議員は委員会まで作って進めているのですか。議員に何かメリットがあるのではないかと思われます。開発が進めば周辺は住みにくい地域になるだけです。

⑨洪水ハザードマップ等の見直し等の防災対応のその後について。

圏央道特別委員会研修会

5月24日に倉持委員長ほか8名の委員の出席で茨城県庁において、境インター（仮称）周辺開発について県関係部局との研修会を実施しました。

沿線開発については、平成24年度より今後の圏央道の整備進展に伴い産業用地の需要が高まることが予想され、計画的且つ秩序ある土地利用を円滑に推進して行くことを目的にIC沿線の常総市、坂東市、五霞町境町の4市町構成による「圏央道沿線地域の産業基盤整備に係る検討会」が立ち上げられました。今後、県関係部局と連携し、開発に関する共通の課題の解決策や沿線地域全体の土地利用のあり方について協議・調整を行い、開発構想の実現を図って行くこととなります。

県からは、先ず既存工業団地の未分譲地や企業撤退跡地等への企業誘致を進める必要があるとのことで、課題としては各市町の整備候補地区の多くが市街化調整区域内で、農振農用地区に指定されているため、農業と調和した土地利用が求められるとのことでした。

また、従前の工業団地整備は構想や計画の策定、設計・関連法令手続き・用地取得・造成を経て、分譲開始まで長期間を要していたが、今後はリスクの軽減を図りつつ、企業進出意欲に即座に対応できるような迅速な整備手法が求められるとのことでした。

当委員会としては、今回の研修の成果を踏まえるとともに、今後の圏央道境（仮称）インターチェンジ周辺開発に向けて調査をさらに進めて行きたいと思っております。

第3回定例会のお知らせ

平成24年第3回境町議会定例会が9月7日（金）から18日（火）までの会期で開催される予定です。

9月　7日（金）	本会議（開会、提出議案上程・説明）
9月10日（月）	本会議（一般質問）
9月11日（火）	本会議（一般質問）
9月12日（水）	決算特別委員会
9月13日（木）	決算特別委員会
9月14日（金）	常任委員会
9月18日（火）	本会議（採決、閉会）

編集後記

この度、新たに広報編集委員長を仰せつかる事になりました。一期目の私にとって委員長は大役ではございますが、町民の皆様にとって、わかりやすくより読みやすい広報になればと考えております。ご意見ご要望などございましたら是非お寄せ下さい。

（広報編集委員長　濵野健司）

◎広報編集委員会

委員長　濵野　健司
副委員長　飯田　進
委　員　内海　和子
委　員　田山　文雄
委　員　渡邊　昇